

HOZAN

P-730、P-731、P-732

圧着工具の点検方法

ホーサン株式会社

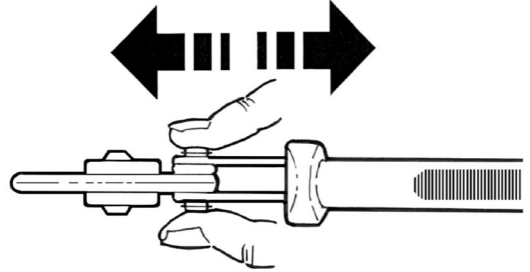
圧着工具の点検方法には、『日常点検』と『数値点検』があります。
『日常点検』で異常がなければ、機能的には問題はありませんが、『日常点検』だけでは信頼感に欠ける、という場合には『数値点検』でチェックをお願いします。

日常点検の方法

A. 外観検査は、すべて目視検査とする。

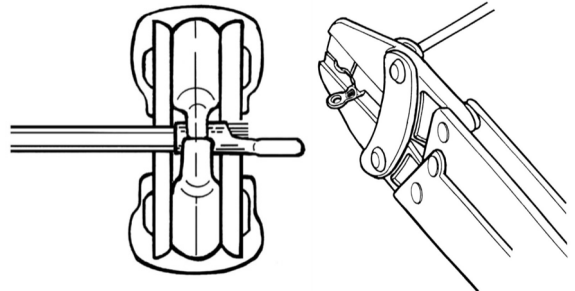
B. 構造検査は、下記の方法による検査とする。
・7と8については、図のように各ピンを軽く指で挟んで、前後左右に動かしてガタを調べる。

正常な場合は、ガタがありません。
ガタがある場合は、ダイス連結板、およびハンドルプレートの内径が摩耗、またはピンの摩耗です。この場合は、修理不能となります。



・9と10は、図のように端子と電線を圧着して、ダイス先端の隙間、および成形確認機構の作動を検査してください。

正常な場合は、先端に隙間がありません。
また、成形確認機構もスムーズに解除します。
先端に隙間のある場合は、ダイス連結板、およびハンドルプレートの内径が摩耗、またはピンの摩耗です。この場合は修理不能となります。
成形確認機構が不具合の場合は修理できますので、ご購入いただいた販売店までお申しつけください。



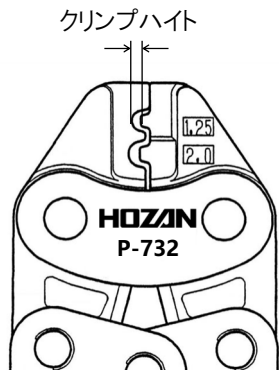
△注意 … ピンおよび各部摺動面には、点検後必ず注油してください。

項目	点検内容
外 観	1 ダイス部およびハンドル部に有害なキズ・割れなどがないこと。
	2 C・E リング、その他部品に異常がないこと。
	3 ダイスにおいては、芯ずれのないこと。
	4 ハンドル部においては、著しい芯ずれのないこと。
	5 圧着マークが明確であること。※ P-730・P-731 は圧着マークが入りません。
	6 ピンおよび各部摺動面に注油してあること。
構 造	7 ダイスと連結板、およびダイスとハンドル部の間にガタのないこと。
	8 各ピンに著しい摩耗や、円周各部にガタのないこと。
	9 実際に端子を圧着して、ダイス先端に隙間のないこと。
	10 成形確認機構が正常に作動して、圧着荷重が加わったあとスムーズに解除すること。

数値点検

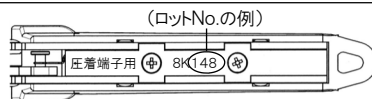
圧着終了時におけるダイスの開き寸法(クリンプハイト)を数値的に管理します。
クリンプハイトの測定は、必ず圧着端子と電線を圧着した状態で測定してください。

下表により、使用するピンゲージをご確認のうえ準備ください。ダイスごとに異なる「通り」用と「止まり」用の軸径のものがが必要です。



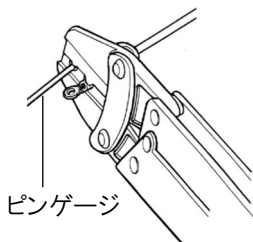
品番	呼び	ピンゲージ軸径(mmφ)	
		通り	止まり
P-730	1.25	1.5	1.8
P-731	2.0	1.9	2.2
P-732	1.25 (ロットNo.078~146のもの)	1.4	1.7
		1.5	2.0
	2.0	1.8	2.1

ロットNo. は右図のように、
グリップ内側に刻印されています。



(例) P-732

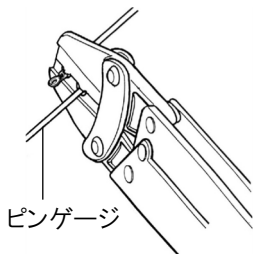
1.25を測定する場合は、図のように2.0で端子と電線を圧着し、ハンドルを徐々に握っていき、成形確認機構が解除する手前(成形確認機構の山ひとつ分手前)で1.25へ、ピンゲージを差し込んで測定します。



【合否の判断】

上表の、該当機種呼び1.25に対応する「通り」列のφのピンゲージが入って、「止まり」列のφのピンゲージが入らなければ、1.25のクリンプハイトは正常です。

2.0を測定する場合は、図のように1.25で端子と電線を圧着し、ハンドルを徐々に握っていき、成形確認機構が解除する手前(成形確認機構の山ひとつ分手前)で2.0へ、ピンゲージを差し込んで測定します。



【合否の判断】

上表の、該当機種呼び2.0に対応する「通り」列のφのピンゲージが入って、「止まり」列のφのピンゲージが入らなければ、2.0のクリンプハイトは正常です。

(例) P-730・P-731

圧着端子をダイスに挿入せずに空でハンドルを徐々に握っていき、成形確認機構が解除する手前(成形確認機構の山ひとつ分手前)で測定してください。

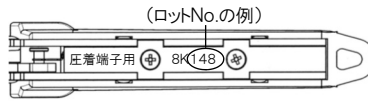
市販されている鉄工用ストレートシャンクのドリル(キリ)でも、およそのクリンプハイト測定ができます。
シャンクをピンゲージ代わりにして、測定してください。



クリンプハイト

品番	呼び	クリンプハイト(mm)
P-730	1.25	1.5<h<1.8
P-731	2.0	1.9<h<2.2
P-732	1.25	(ロットNo.078~146のもの)
		(ロットNo.147以降のもの)
	2.0	1.8<h<2.1

ロットNo. は右図のように、グリップ内側に刻印されています。



クリンプハイトは、メーカーにより異なります。上記は、当社の社内規格数値です。

引張り荷重値検査

引張り荷重値で管理する場合は、下記荷重値で検査してください。

呼び	電線(mm ²)	引張り荷重値(N)
1.25	1.25	200以上
2.0	1.25	200以上
	2.0	290以上

※使用端子及び電線メーカーにより数値が異なる場合があります。

長くお使いいただくために

サビ防止のため、定期的に潤滑油などをしみこませたウエスでふいて保管してください。

技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024